

# 令和6年度[検証・見直し] 城山校区社協行動計画書

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み	行動計画
笑顔と思いやりあふれるみんなが集うまち「城山」	高齢者が生きがいを感じ元気で暮らせるまちづくり	高齢者	認知症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者が増えてきている</li> <li>認知症の方への接し方が分からない</li> <li>認知症に関して情報不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症についての学習（理解）が必要</li> <li>当事者やその家族が集まる場所があればいい</li> </ul>	<b>居場所づくりをすることで、見守りができ孤独解消を図る</b> <b>皆で認知症について考え、地域で支え合う大切さを広める</b> 認知症対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症に関する学習会を開催し理解を深める（認知症サポーター養成研修など）</li> <li>城山小学校や熊本西高校で福祉教育を行う</li> </ul> 見守り、居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい・いきいきサロンの充実、拡充</li> <li>近所への声かけ、見守りを継続する</li> <li>敬老福祉まつりの開催</li> </ul> 買い物、移動手段 <ul style="list-style-type: none"> <li>買い物困難者に対する買い物サポートカーやちょいソコ等の情報提供等</li> </ul>
			見守り、居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしが増えているため高齢者の見守りが必要</li> <li>住民同士の繋がりが必要</li> <li>集いの場や居場所づくりが必要</li> <li>ふれあい・いきいきサロンへの参加が増えない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今あるものを活用し内容を工夫する</li> <li>喫茶店のようなコーヒーを飲む集まりにする</li> <li>集まるための声かけを行う</li> </ul>	
			買い物、移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>店まで歩いて行けるが荷物を持って歩けない</li> <li>歩ける範囲に店がない</li> <li>運転免許返納すれば買い物や病院に行けなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動販売や配達など企業に協力を求める</li> <li>乗り合いタクシーの検討をする</li> </ul>	
			障がい児・障がい者の理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある方への接し方が分からない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児や障がい者についての学習(理解)が必要</li> </ul>	<b>障がいの有無に関わらず、安心して生活できる寛容な地域を目指す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者に関する学習会（障がい者サポーター養成研修など）を開催</li> </ul>
	地域のみんなと育つまちづくり、子どもが	子ども子育てに関すること	あいさつ見守り交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の見守り、声かけを継続する</li> <li>人口増加に伴い交通量の増加</li> <li>スクールゾーンの設置希望</li> <li>危険箇所の周知（用水路等も含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の散歩を登下校時に合わせて行う</li> <li>大人から積極的に声をかけ子どもに顔を覚えてもらう</li> <li>自治会や交通安全協会などの見守りを継続する</li> <li>大人も学ぶ交通安全教室</li> </ul>	<b>子どもの見守りを通して、世代間交流を図る</b> <b>遊びを通して、子育てに協力し合える関係を築く</b> あいさつ、見守り、交通安全 <ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の見守り、挨拶運動を継続する</li> <li>交通ルールのマナー教室</li> <li>子育てサークル（みつばちくらぶ）の開催</li> <li>風揚げ大会や校区体育祭等、世代間交流を図るイベントを実施する</li> <li>小学生を対象とした交流事業の開催 伝承遊び、公園清掃活動、危険箇所探イベント など</li> <li>子育て支援ネットワークへの参加</li> </ul>
			遊び場、交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代間交流の場がほしい</li> <li>子どもが参加できるイベントを企画する</li> <li>遊び場が少ない</li> <li>町内毎にイベントの有無に差がある</li> <li>PTA加入率が低下している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子参加できる交流の場をつくる</li> <li>地域行事（イベント）の開催により世代間交流を図る</li> </ul>	
			教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの自主性を向上させるにはどうするのか</li> <li>学校と地域との交流が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守り塾（育成クラブの延長の場所）</li> <li>学校と地域で情報共有を図る</li> <li>大人の関わり方が大事</li> </ul>	
	世代を超えてつながり支えあうまちづくり	暮らし・人とのつながり	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民同士があいさつをする習慣があればいい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内ごとにあいさつ運動を行う（自宅前でのあいさつ）</li> </ul>	<b>住民の健康維持・向上を目指す</b> <b>暮らしやすい、住みやすい環境を整える</b> <b>住民同士の交流を図り人材の確保に努める</b> ゴミや環境問題、交通課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>回覧板でゴミ出しや飼育方法について周知を図る</li> </ul> 健康づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>世代間交流を図り支え合う</li> <li>健康マージャン、グラウンドゴルフ等への参加を促す</li> </ul> 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントをとおして人材探しを行う</li> <li>お互いさまの精神を根付かせる</li> </ul> 相談体制づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>顔の見える関係をつくる</li> </ul>
			ゴミや環境課題 交通課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみステーションの環境問題、犬猫のフン問題</li> <li>交通マナーの周知（車、自転車、歩行者など）</li> <li>猫の多頭飼育問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみステーションをきれいに保つ</li> <li>環境パトロールをする</li> </ul>	
			人材不足、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事でのマンパワー不足</li> <li>地域役員候補者の確保</li> <li>同世代（若い世代）の交流の場が少ない</li> <li>住民同士の繋がりが希薄になった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰でもできることを当番制にして人材を確保する</li> <li>町内ごとのイベントを校区で開催し住民交流を図る</li> </ul>	
			健康寿命	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や若年層の健康診断受診者が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり、体づくりイベントの実施継続</li> <li>世代間交流を図り生きがいをみつける</li> <li>健康や医療に関する講演会の開催</li> </ul>	
			相談窓口の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>悩みや心配ごとを相談する窓口が周知されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰かに相談すれば繋がる仕組みが必要</li> </ul>	
災害に備え助け合う体制づくり	災害に関すること	名簿の整理、情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者の情報共有ができていない</li> <li>登録が必要と思われる方が登録していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者名簿をもとに町内独自の名簿を作成する</li> <li>情報の伝達役割分担を確認しておく</li> <li>近所とのつながりを構築する</li> </ul>	<b>災害時要援護者の情報を共有し災害時に活用できるよう整備する</b> <b>町内ごとのハザードマップをつくり、避難経路や避難場所を明確にする</b>	
		危険箇所の確認、周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険箇所を確認し周知する（住民への意識付け）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内ごとのハザードマップを作成する</li> </ul>	災害時要援護者名簿、情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者の名簿を整理し、町内の関係団体で情報共有を図る</li> </ul>	
		避難先、避難方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難場所の確認徹底（水害、地震など災害の種類で避難先が変わる）</li> <li>要援護者の避難手段の徹底（個々の避難手段を決める）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ぐるみで避難行動や手段の確認を行う</li> </ul>	危険箇所の確認や避難先等の周知を行う <ul style="list-style-type: none"> <li>町内ごとの防災訓練、災害時の避難方法などの周知</li> </ul>	